

# 発達・精神障がいのある学生への

# 合理的配慮



～実験や実習場面に焦点を当てて～

2025 **3/10** オンライン(zoom)  
月 15:00～16:30(4時限)

※事前申込必須

申込締切:3/7(金)10時

事前申込にご協力よろしくお願ひします。  
受講に際し配慮が必要な方は、お申し出ください。

講師 **船越 高樹 先生**

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)准教授

## ●講師ご活動●

東京大学に拠点のある障害と高等教育に関するプラットフォーム形成事業(PHED事業)が行っているテーマ別専門部会(SIG)の委員でもあり、専門職養成課程での合理的配慮、学内外の実習時の支援について全国の実践家らとディスカッションを重ねておられます。

## 研修内容

1. 合理的配慮の提供における変更・調整と事前の環境整備の考え方
2. 実験・実習における教育の本質や取り組み事例
3. 質疑応答

～こんな疑問や不安を、一緒に考えませんか～

- ・資格取得に関わるので、合理的配慮の変更・調整が難しそう
  - ・実習に向けて教職員がいつからどのような準備をしたら良いか知りたい
  - ・危険な実験や学外実習を配慮を必要とする学生が一人で行えるか心配
  - ・学生自身はあまり困っていないように見えるが、何らかの配慮が必要だと感じる時は？
  - ・実習先にどのように合理的配慮を依頼すれば良い？
- ・・・等々

主催:アクセシビリティセンター・アクセシビリティ支援委員会

共催:高等教育研究開発センター・人権問題研究センター・教育改革委員会

問合せ:072-254-9867 (中百舌島内線5127)

gr-gks-ac@omu.ac.jp

お申し込みはこちら

※期限を過ぎた場合は、  
問合せ先までご連絡ください。

